

復興支援フォーラムニュース No.110

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

=====
<第108回 ふくしま復興支援フォーラム> (2017.04.07)

神戸から福島へ：学びのネットワークという挑戦

一般社団法人ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長 前川直哉

1. 神戸から福島へ

- ・灘校と阪神・淡路大震災
- ・灘校「東北訪問合宿」
→おもな目的
 - 1) 被災地域を実際に自分の足で歩き、自分の目で見て、多くの方のお話を聞く
 - 2) 活躍する「カッコいい大人」たちの姿を見る

2. 「なぜ学ぶのか？」

- ・一日あたりの学校外での平均勉強時間（高校生） 1982年99分→2012年66分
- ・30年前の日本：1980年代
 - ①「受験戦争」全盛期。
 - ②「いい学校→いい会社→いい人生」という「学歴神話」の存在。
- ・2017年の日本
 - ①少子化と「大学全入時代」。
 - ②長引く不況、「学歴神話」の崩壊。

3. 学びのネットワークという挑戦

- ・ふくしま学びのネットワークとは
→学校の先生方と連携し、福島県の中高生たちの学びをサポートする、非営利団体。
- ・「ふくしま高校生 社会活動コンテスト」

~~~~~

## 第107回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2017年3月15日、第107回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

久保美由紀氏（会津大学短期大学部准教授）から、「地域で見守るしくみ ～生活支援相談員活動状況調査を踏まえて～」について報告いただきました。

年度末の忙しい中、14名が参加し、熱心な質疑応答がありましたが、文書で提出されたご意見等は、以下の通りです。参考にしてください。

~~~~~

★ 災害公営住宅入居で「定住」と定義されると支援がなくなる。←この人たちを見守る必要がある。超長期的支援の総体は、福島県では必要。何をもちて自立→支援終了となるか不透明。（F.T）

★ 初めて参加させていただきました。なかなか知ることができない生活支援相談員事業について学ばせていただき。ありがとうございました。一人一人の状況に合わせた支援を求めていくことの大切さを認識しました。＊日生協の会長は、最後の一人まで支援を続けたいと言っています。今後も日程が許せば、参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。（T.I）

★ ありがとうございました。自分自身の現在の課題に、ドストライクのお話でした。支援とか、福祉とかを抜きに、普通に生活している中でも、生活支援相談員のスキルは必要だと思いました。（K.I）

★ 災害復興住宅への入居で終わらない・・・そうでしたか。なるほどねえ。政府がいう「復興」などできません。「復旧」だって無理です（たぶん）。「もとに戻らない」とするなら、どうすればいいのでしょうか？希望は今のところ持てません。（K.E）

★ #107回のフォーラムの開催ありがとうございます。（地域で見守る事は、最も大切な事だと思います。）①福島復興支援フォーラムに参加・発表グループ（者）のご苦勞は並大抵のものではないという事がわかりました。②反面、世の中は「東京オリンピック」「大阪万博」等へ関心が向いている。③復興風化防止の歯止めとして、オリンピックまでに復興長期ビジョンの策定と実施スタートが望ましい。④4/7の#108回フォーラムの前に、②③の検討をしたい。（T.S）

★ あるカテゴリーの方々を支援する団体の勤務しているため、意識的に「聴く・観る」ことにより状況を把握し、専門機関によるアセスメントにつなげる、「困りごとはない」という言葉をうのみにせず、物差で間口を狭めず対応することの大切さなど、共通する部分があると感じながらお話を聞いた。本当に支援を必要としている人（中には孤立している人もいる）を把握したり、その人から内容を聞き出すには、その地域に溶け込み信頼されていたり、コミュニティのキーパーソンだったりする人を伴って訪問等することが効果的であるが、相手が被災者の場合は、それも困難な場合があるろう。方法論的な話が良かったが、実際の個別の支援内容を踏まえた、制

度設計の提案についてのお話をもう少し聞きたかった。(Y.S)

★ 東日本大震災・原発事故に伴う被災者の避難生活を支援する「生活支援相談員の活動状況について」詳細なご報告をいただき感謝申し上げます。(K.F)

★ どう制度からこぼれないようにするか、既存の制度では解決できないことを改めて実感しました。生活支援相談員の实態について理解を深めることができました。(Y.I)

~~~~~

【予告】第109回ふくしま復興支援フォーラム 2017年4月19日(水) 18:00~19:45

「原発事故6年を経過するにあたって、私たちの緊急提言」

報告者：海部 幸造 氏(弁護士・原発と人権ネットワーク)

会場：福島市市民会館 5階 501号室

(福島市霞町1番52号)

【予告】第110回ふくしま復興支援フォーラム 2017年4月25日(火) 18:30~20:30

「楡葉町における復興の課題」(仮)

報告者：松本 幸英 氏(楡葉町長)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室1

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18)

【予告】第111回ふくしま復興支援フォーラム 2017年5月18日(木) 18:30~20:30

「原発避難者向け復興公営住宅入居者調査結果」

報告者：西田 奈保子 氏(福島大学行政政策学類准教授)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」大活動室1

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18)

~~~~~

◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第106回ふくしま復興支援フォーラム(3月15日)の会場で、カンパ5500円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】(2017.4.5現在)

「収入」

2017.3.14まで	37,556円(第2期(2016.10.27~)繰越 7,106円)
会場個人カンパ(2017.3.15)	5,500円
計	43,056円

「支出」

2017.1.31まで(会場費107まで)	20,120円
2017.3.15(会場費109・市民会館)	4,500円
計	24,620円

「残金(現在高)」2017.3.15 18,436円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽